

Ask,
seek,
knock,
Mat7:7

「求めなさい」

- メッセージ 鍛冶川 利文 師
- ミャンマー地震支援レポート！ 伊藤 仁 師
- 新入生・卒業生の証し

CFNJ NEWS

クライスト・フォー・ザ・ネーションズ・ジャパン聖書学院

2025年7月・8号 NO.195

「求めなさい」

Ask, seek, knock, Mat7:7



学院長 鍛冶川利文

マタイによる福音書7章7節～11節

「求めなさい。そうすれば与えられます。捜しなさい。そうすれば見つかります。たたきなさい。そうすれば開かれます。だれであれ、求める者は受け、捜す者は見つけ出し、たたく者には開かれます。あなたがたも、自分の子がパンを下さいと言うときに、だれが石を与えるでしょう。また、子が魚を下さいと言うのに、だれが蛇を与えるでしょう。してみると、あなたがたは、悪い者ではあっても、自分の子どもには良い物を与えることを知っているのです。とすれば、なおのこと、天におられるあなたがたの父が、どうして、求める者たちに良いものを下さらないことがありましょう。」

マタイによる福音書7章7節～11節

この聖書箇所は聖書中最も有名な言葉の1つです。「人はパンのみに生きるにあらず」「汝の敵を愛せ」「狭き門から入りなさい」「目から鱗」などいろいろありますが、その中でもこの言葉は特に有名な言葉です。だいぶ前の話しですが、ある大きな町のパチンコ屋の看板にこの言葉が掲げられていたそうです。「求めよ！そうすれ

ば与えられます。叩け！そうすれば開かれます。出玉最高！一攫千金！」これは御言葉を間違っ使用しています。それではこの御言葉の本来の意味とは何でしょうか？イエス様が語られた真意について3つのキーワードに分けて見てみたいと思います。それは、このことばが、「誰に」、「何を」、そして、「どのように」という事です。

1. 誰に求めるのか？

～それは天の父にです！

「求めなさい」は、父親から子供への呼びかけの言葉です。この「求めよ」という言葉は、「アイテオー」というギリシャ語の言葉です。これは「立場の違う間での求め」という意味で、この場合「親子」での求めです。真夏のプールなどで子供が水を怖がってしまい、なかなかプールに入ることが出来ない時に、水の中にいるお父さんが、「大丈夫だから！」「お父さんが必ず受け止めてあげるから心配しないで飛びなさい。」そう言って子供に勇気を出すように呼び

かけるような、子供に決断を促している言葉です。なぜこのように言えるのでしょうか？それは天のお父様だからです！全知全能なる神だからです！父なる神は子である私達の弱点や性格、過去の傷や将来の計画をご存じで、その全てを知った上で「さあ、求めなさい！」と仰っているんです。こんな大胆なことが言えるのは神様だけです。日本人はいきなり「求めよ」といわれても「いやいや」と遠慮してしまうんですけど、天の父の前では大胆に求めても良いのです。この呼びかけは教理や教義というより、私達の意志や感情に訴える呼びかけで、「やってみなさい！」「実行してみなさい！」という決断を促す言葉です。キリスト教の信仰の真実性は、実際にためしてみる価値あるものです。

2. 何を求めるのか？

～それは更に良いものです！

「求めなさい」は、父親から子供に、更に、まさった、更に、良いものを与える為の呼びかけの言葉です。親は子供の必要を知っています。しかし子供自身は必ずしもそうではありません。自分の好きなもの、欲しいものを思いのままに求めます。しかしそれが必ずしも良いものとは限りません。身体と心に害となるものも多いのです。ですから子供が強く願うからといって、何でも与えられるとは限りません。いやむしろ求めても与えられないものもあります。更に、求めるべきではなかったものもあります。(ヤコブ4章3節) 又、求めてもその答えが延ばされたり、違う形で与えられたりすることもあります。(エリヤの死にたいという求め・ヨナの殺してくれという求め・パウロの体の棘など) 特にパウロは、3度までも癒やされるように求めたのに、神のお答えは、「答えない」という答えでした。ですからこの「求めるべきもの」は、子の方からの勝手な要求ではなく、良き父である神が願うところの求めなのです。それは子供にとって更に良いものです。イエス様は弟子たちやこの世の父に向かって「偽善者たち」(マタイ7章5節)、「悪い者」(マタイ7章11節)と仰いました。それは「分かっている

も行えない弱さを持ち、絶えず自己中心に考える利己的な者」という意味です。しかしこのような親であっても、自分の子がパンを下さいと言うときに石を与えることはしないし、子が魚を下さいと言うのに蛇を与える事はしません。この世の親であってもあたりまえに子供にとって良いものを与えようとするのです。ならばましてや天の父は、愛する子供に更に良いものを惜しむ事はありません。イスラエルの民が荒野でパンを求めた時にモーセを通して神はマナを天から降らせました。そしてそのマナは40年間止むことはありませんでした。数百万という民を養い続けられました。その必要に答えられました。しかし、天の神がイスラエルの民に本当に与えたかったものは、さらにまさったものでした。それは、「人はパンだけで生きるのではなく、神の口から出る一つ一つのことばによる」(マタイ4章4節)でした。そして獲得すべき約束の地でした。更には、いのちのパンであるイエス様ご自身です。「イエスは言われた。『わたしがいのちのパンです。わたしに来る者は決して飢えることがなく、わたしを信じる者はどんなときにも、決して渇くことはありません。』」(ヨハネ6章35節) このように天の父は私達によりまさったもの、又、更に良いものを与えたいのです。そして、父なる神の願いは、子自身が、自ら、大胆に、更に良いものを求めるようになることです！子供が成長したかどうかを測るものは何を自らに求めるのかです。

「信仰がなくては、神に喜ばれることはできません。神に近づく者は、神がおられることと、神を求める者には報いてくださる方であることを、信じなければならないのです。」(ヘブル11章6節)

更に求める良いものとは何でしょうか？それは「神の国とその義」(マタイ6章33節)、「適切な判断と識別力」(マタイ7章1節～6節)、「より優れた賜物」(コリント12章31節)、「預言すること」(1コリント14章39節)、「義と信仰と愛と平和」(2テモテ2章22節)、「より愛すること」(コリント14章1節)、「自分の故郷」(ヘブル11章14節)、「より赦すこと」

(マタイ 6 章 1 4 節)、「より清きもの」(ピリピ 4 章 8 節)、「より聖められること」(ヘブル 1 2 章 1 4 節)、「他者の利益」(1 コリント 1 0 章 2 4 節)、「より憐み深い心」(マタイ 5 章 7 節)、「より義に飢え乾くこと」(マタイ 5 章 6 節)、「自分のいのち」(マルコ 8 章 3 6 節)、そして、「聖霊様」です。

「してみると、あなたがたも、悪い者ではあっても、自分の子どもには良い物を与えることを知っているのです。とすれば、なおのこと、天の父が、求める人たちに、どうして聖霊を下さないことがありますでしょう。」(ルカの福音書 11 章 13 節)

そして、良き物の中の最高のものは、それは、「イエスキリスト」です。

「では、これらのことからどう言えるでしょう。神が私たちの味方であるなら、だれが私たちに敵対できるでしょう。私たちすべてのために、ご自分の御子をさえ惜しまずに死に渡された方が、どうして、御子とיישיוにすべてのものを、私たちに恵んでくださらないことがありますでしょう。」(ローマ書 8 章 3 1 節・3 2 節)

3. どのように求めるのか？ ～それは忍耐と情熱を持ってです！

「求めなさい」は、答える父親が誰であるかを知る為の呼びかけの言葉です。イエス様はその求め方について 3 つのパターンで求めるように教えています。それは、求めること、(言葉だけで)。探すこと、(身体を使って行動する)。叩くこと、(少し強く願う) ことです。これはいろいろな求め方があるということで、どうしても 3 段階で祈らなければならないということではありません。時としてただ言葉だけで求めるのではなく、積極的に探したり、又、強く求めてみることも必要であるということです。決して、過激にしつこく、声をからし、ドアを叩き割るほどしなければならないという事ではありません。もしそうしなければ答えられないとしたら、それは行いを誇る信仰になります。そうではありません。いやむしろ神は求める前に、

私たちに何が必要かを知っておられます。神は探す前に、すでに見つけておられます。又、神はドアを叩く前に、すでに開けようと、ドアのすぐそばに立って待っているのです。マタイの福音書 6 章 8 節には「だから、彼ら(異邦人)のまねをしてはいけません。あなたがたの父なる神は、あなたがたが願う先に、あなたがたに必要なものを知っておられるからです。」ですから、神様は私達が願う前から、何が必要かをご存じで、また、求める者には必ず報いてくださるお方です。

もう 30 年以上前のことになりますが、北海道の北に位置するロシアのサハリン宣教のニュースレターに書かれていたお話です。その手紙の中に、「セルゲイ」という夫と、「ナターシャ」という妻の、救われて間もないご夫婦の証しの話が載っていました。

この夫婦は、ポロナイスクというサハリンの中部にある町に住んでいました。そこにはハワイ在住の日本人宣教師の「小林繁樹師」が開拓された教会がありました。この教会に夫婦は集っていました。当時のサハリンの状況はとても貧しく、彼らの状況も同様でした。生活はとても大変で日々の食事に事欠く状態で、なんとか教会の配給で生きていけるような状態だったそうです。そんな中、食べ物も問題ですが、冬が来る前に、これから訪れる冬用の暖房の石炭が全く無かったのです。もしそれがなければ冬を越す事が出来ないどころか、命に係わる危機的な状態にもなります。それで、この夫婦は一緒に天のお父様に祈りました。何とか少しでも石炭が与えられるようこの夫婦はお祈りしました。でもそうこうしている内に、徐々に寒さもましてきて、ついに雪が降りはじめました。サハリンの冬は早く、そして厳しいのです。そのような状況の中でこの夫婦は必死に祈り続けました。諦めずに祈り続けていると、ある日、神様がその祈りに答えてくださったのです。

ある日、石炭を満載したトラックが家の前を通ろうとしました。その時そのトラックが何と！そのセルゲイ夫婦の家の前で、突然、止まっ

てしまったんです。そしてエンジンがかからなくなりました。運転手が何度もエンジンをかけようとしますがかかりません。それでその運転手はやむなく、そのトラックに満載していた石炭を、そのセルゲイ夫婦の庭に下ろして荷を軽くして、立ち去ったと言うのです。それは約5トン近くもあったそうです。何と！それらの石炭が無料で与えられました！神様は祈りに答えられるお方です。アーメン！

私たちの求め方や探し方や叩き方がどうであれ、その事には関係なく、私達の天のお父さんは、愛する子に与えたくてたまらないお方なのです。それは子供が欲しがっていたクリスマスプレゼントを買って、ずっと子供が学校から帰って来るのを待つパパのようです。放蕩息子 of 帰りを待つ父親のようです。だから待ちきれないのです！

「息子は言った。『お父さん。私は天に対して罪を犯し、またあなたの前に罪を犯しました。もう私は、あなたの子と呼ばれる資格はありません。』」

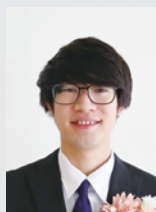
『急いで一番良い着物を持って来て、この子に着せなさい。それから、手に指輪をはめさせ、足にくつをはかせなさい。そして肥えた子牛を引いて来てほふりなさい。食べて祝おうではないか。この息子は、死んでいたのが生き返り、いなくなっていたのが見つかったのだから。』そして彼らは祝宴を始めた。」（ルカ15章21節～24節）

私達の天のお父さんは、私達が祈り求める事を願い、更にまさった良きものを、大胆に求めることを願っておられます。それは私達が、天のお父さんの子であるがゆえの最善なるものを与えたい親心でもあります。そしてその求めに必ずお答えになるお方でもあります。ご自分の御子さえ惜しまずにお与えになられたお方が、他に何を下さらないことがあるのでしょうか？ですから私達はたゆまず、あきらめず、期待を持ち続けながら、更に祈り、求め、探し、叩き続けようではありませんか！

祝 卒業式

2025年3月7日(金)午前9時30より

●この日特別に、横浜ニューライフバプテスト教会牧師の「田坂 元彦師」をゲストにお迎えして、2024年度の卒業式が執り行われました。田坂師からの祝福の御言葉を頂き、この日に卒業した二人は、これまでの多くの方に支えられて来たことや神様の恵みを語りながら、来られた恩師やご家族の祈りを受けて旅立って行きました。これからの二人の歩みの為にお祈りをよろしく願いたします。



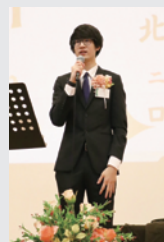
■私は、強くなるためにこの聖書学校に来ましたが、神様はまず私を最大限に弱くされ、自分の罪深さと向き合う機会をくださいました。人との関わりに悩み苦しみましたが、同時にその中にある喜びも教えられました。神様が私を最大限に用いたいと願っておられ、想像を超える道を備えてくださっていることを深く実感しています。3年間学ばせてくださりありがとうございました。

ロケジョ シュ輝 (2年コース卒業)



■おかげさまで無事、卒業することができました。祈られていた場所で過ごせたのは感謝でした。祈り、支えていただいた皆様に感謝します。ありがとうございました。ハレルヤ！

北坂 信頼 (アルプスコース卒業)



ミャンマー 地震支援 レポート！

2025年3月28日、ミャンマー標準時12時50分（日本時間15時20分）に、ミャンマー中部のマンダレー近郊を震源として、マグニチュード 7.7 の地震が発生しました！この地震が起こってまもなくの4月7日から18日まで、私は現地ミャンマーに行って来ました。これは事前に予定していて飛行機のチケットも購入していた為に現地に入ることが出来ました。以下、地震後のミャンマー滞在の状況をレポートいたします！

WUPM Japan（世界未伝道部族宣教会日本支部）代表
ミャンマー宣教師・CFNJ 講師

伊藤 仁 宣教師



エルペテル教会のタウンオル先生



●マンダレー

●インレー湖

●ネビドー

●ヤンゴン



マンダレーの被災地で救援物資を配る

何はともあれ行こうと決心する！

震源地に近いマンダレーやサガイン、またインレー湖上にある村で多くの建物が倒壊しました。死者数は正確には全く分かりませんが、5千人を超えと言われています。今回被害が大きかったこのマンダレー、サガイン、インレー湖は、どれ



インレー湖上の村の家が倒壊

も私がミャンマーに住んでいた頃に活動した地域で、今回も訪問を予定していた所なのです。ニュースを知ったとき「これは大変な旅行になるな。」と思いました。実際、多くの人々から心配されました。それでも旅行をキャンセルしようとは全く考えませんでした。「恐れていたら何もできない。地震が起きる前からこの訪問地を予定していたのも導きだ。こんなときだからこそ、行く意味がある。大変なときの友こそ本当の友だ。苦しんでいる彼らのそばに行って助け、慰め、寄り添い、力づけたい。」そう考えました。それで何はともあれ行こう、と決心したのです。

すると、私がミャンマーに行くということを知った多くの人々が、私のところに義援金として献金を送ってくれました。その中には、私が全く会ったこともない人も多くいました。全部で何と144人もの方々が合計377万円以上もの貴い献金をささげてくださいました。私は本当に驚き、感激し、心から感謝し、主のみわさを賛美しました。と同時に今回ミャンマーに行くことの責任の重さを実感しました。こんなに多くの方々がささげて、ミャンマーのため、そして私のために祈ってくださっている。そう考えると、身が引きしめる思いでした。

御国が来ますように！

4月7日新千歳空港からバンコク経由でヤンゴンに着きました。次の日に銀行に行ったら、制限があって一度に多くの金額は引き落としたり送金したりできない、と言われました。私はがっかりして、一体どうしたらいいのか悩みました。そうしたら、そこの職員が「モバイル・バンキング」というのを申請してスマホにアプリを入れれば、制限なく送金できる、と教えてくれました。そこで早速その通りにして、後で全ての送金を済ませることができました。また今回の旅行では移動が心配事でした。当初はヤンゴンからマンダレーまで飛行機で行く予定でした。しかしマンダレー空港は地震のため閉鎖されて、飛行機はキャンセルしました。そこでバスで行くことにしましたが、道や橋が損傷していて迂回していくので、10時

間以上かかる、というのです。しかも外国人は検問所でチェックされて止められてしまう、という情報もありました。色々調べましたが、とにかく行ってみないと分からないので、必ず行けると信じて、信仰によって行くことにしました。それでバスに乗って座席に座ってみたら、そのバスのフロントガラスに何と「THY KINGDOM COME, THY WILL BE DONE IN EARTH, AS IT IS IN HEAVEN」(御国が来ますように。御心が天で行われるように地でも行われますように)と大きな字で書かれているではありませんか！私は驚いて、それを何度も口に出して読み返し、宣言しました。主が私に「あなたが行くのは主の御心だよ」と語りかけ認めてくださったのだ、と信じました。これによって私は大きな励ましと平安を得ました。後で聞いたら、そのバス会社のオーナーはクリスチャンだ、とのこと。そして実際、検問で何も問題なく通過し、道も思ったほどガタガタせず行けました。約11時間かかりましたが、無事にマンダレーに着くことができました。ハレルヤ！

また今回、マンダレーでの宿泊も心配でした。地震によって多くのホテルが閉鎖されました。多くの人が家を失い、また余震が続くため、人々は道路にテントや蚊帳を張って寝ていました。停電して水もなく、食料やガソリンも不足して、とにかく大変な状況だ、と聞いていました。しかも今はミャンマーで一番暑い時期で、40度を超すのです。もしかしたら私も外のテントで寝て、何日もシャワーができないのでは、と覚悟していました。しかし着いてみて現地の牧師先生に案内されたホテルは電気も水もあり、きれいで快適でした。その先生はこう言いました。「色々調べてみたけど、他の所は軍や警察がチェックしていて危ない。でもこのホテルのオーナーは有力者だから安全だ。」その先生は私の身の安全を深く考えて、そこを選んでくださったのです。また私が隣町のサガインに行くときも先生は「軍が検問していて危ないのに、何かあってはいけない」と思って、一緒について行ってくれました。そしてサガインに行く途中の検問では、何もチェックされず無事でした。先生の守りと責任感、愛の配慮、そして判断力に、私は感動して心から感謝しました。

無事な再会を喜ぶ！

今回マンダレーで私を責任もって守ってくれたのは、エルベテル教会のタウンオル先生です。私たち一家は2010年から2015年までの5年間、この教会と協力して一緒に伝道と弟子養育をしていました。今回献金を手渡したら、本当に喜んでくれました。それで早速、救助活動のための水やお米、伝道用小冊子などを買って、次の日には被災地に行って配布していました。日本からの献金が、このようにすぐに必要な所で用いられるのを見て、うれしかったです。またその他に、私が以前から親しくして一緒に活動したハッピーファミリー聖書学校、トリニティ教会、Ignite（燃える）教会のギンボイ先生、サガイン教会のソーエーワ先生にも会いに行きました。彼らの教会も、建物の被害はありましたが死者やケガ人はありませんでした。彼らと久しぶりの再会を喜び合い、積もる話をして、献金を渡し、祈り合いました。



バザ牧師(右)とイエマッセ伝道師(中央)

この教会のバザ先生は2017年から2020年までの4年間、私たちと一緒に開拓してきた同労者です。2020年に私たち一家が日本に帰国した後、コロナやクーデター、洪水など、様々な困難に直面しました。しかし教会は成長し続け、今では主日礼拝に100人以上が出席しています。私は昨年7月と11月にもこの教会を訪問しました。今回のメッセージで私は「地震をどう考えるか」という題で、ヨハネ16章33節から語りました。「**これらのことをあなたがたに話したのは、あなたがたがわたしにあって平安を得るためです。世にあっては苦難があります。しかし、勇気を出しなさい。わたしはすでに世に勝ちました。**」この聖句は、私が今回旅行前に主から示されて、とても力づけられたみことばです。今回予定していたセミナーはできませんでしたが、主のみことばを伝えることができ感謝でした。



インレー湖上の村の家が倒壊

今回の地震で、インレー湖上にあるゲラ村は大きな被害を受け、800以上の家が倒れたとのこと。そこには未伝道部族であるエンター族が住んでいて、ガユナー教会のメンバーもたくさんいます。みんな親戚の家やテントなどに移って避難生活をしていました。それでも信者の中で死者やケガ人が一人もいなかったのは、本当に奇跡でした。バザ先生は私とゲラ村で活動しているイエマッセ伝道師を呼んで今後の復興計画について話し合いました。先生はこう言いました。「今回家々が倒れた所は水上なので、がれきを取り除くだけでも何か月もかかる。しかも地盤が悪く、その場所に家を建て直しても、また洪水や地震が起きる可能性もある。でもゲラ村からボートで15分ぐらいの陸上にあるカンペ村に、広くてちょうど良い土地と家がある。そこを買い取って被災者やその家族たちが住んで、その場所を主日礼拝や伝道活動もできる宣教センターとして長期的に活

支援・宣教センターを計画

4月12日にはマンダレーを離れてインレー湖近くのニャウンシェ町へ向かいました。タクシーで約7時間かかりました。途中の検問で銃を持った軍人たちがいてパスポートをチェックされたので、とても緊張しました。でも何事もなく通過できました。主の守りに感謝！13日にはニャウンシェのガユナー教会で主日礼拝を共にしました。

用したらどうか。」この提案に、私もイエマッスエ伝道師も喜んで賛成しました。今回私が持ってきた献金で全体額の約3分の1をまかない、残りはガユナー教会やイエマッスエ伝道師の家族が拠出すれば、何とか購入できるだろうとのこと。必要は満たされると信じて信仰によって決心し、この計画を進めることにしました。震災復興には多くの時間と資金と労力がかかります。忍耐強く息の長い支援活動が必要です。私は早ければ今年の8月にこの被災地を再訪問する予定です。全ての経済的必要が満たされるように、この宣教センターを通して村人たちの生活が早く復旧して、多くの人々がキリストの救いへと導かれるように、ぜひ続けてお祈りください。

今回のミャンマー旅行は、行く前は色々心配しましたが、行ってみたら全ての安全が守られました。出発前に私が主から受けていたみことばは詩篇の御言葉でした。

「主はすべてのわざわいからあなたを守りあなたのたましいを守られる。主はあなたを行くにも帰るにも今よりとこしえまでも守られる。」

(詩篇121篇7節・8節)

そして実際、その通りに守られました。また現地の人たちに献金をしっかり渡すことができ、多くの人々が「こんな大変なときに来てくれてありがとう」と言ってくれました。私は本当に行って良かったと思いました。私の計画は変更ばかりでしたが、主の計画、主の御心は成されました。主のすばらしいみわざを賛美します。今回のために祈り、ささげてくださった多くの方々に心から感謝します。そして全てを導き守ってくださった主に感謝し、全ての栄光を主に返しします。

■継続的な支援宣教活動の為に支援を希望される方は、下記の口座、又は、「WUPM Japan」ホームページのオンライン送金をご利用ください。

●献金振込先／ゆうちょ銀行

(記号) 10520

(番号) 02015181 「イトウ ヒトシ」

●他金融機関から振り込むとき

／ゆうちょ銀行

(店名) 〇五八 (読み方) ゼロゴハチ

(店番) 058 (普通預金) 0201518 「イトウ ヒトシ」



※WUPM Japan ホームページからクレジットカード決済できます。

2025年度 1～2学期 ゲストスピーカー のご案内

(2025年6月23日(月)
～12月5日(金)迄)



6/23～27
1・2時間目

ソ・ヒョンソプ師

GL ミッション (福音といのち宣教会) の代表。世界各地で「福音といのち」キャンプを開催し、いのちの福音を教えている。

●テーマ／「起源・福音・いのち」



岩崎 義幸師

■日野キリスト教会牧師。CFNJ 聖書学院 卒・Christ For The Nations 卒・

10/20～24
1・2時間目

●ゲストスピーカーの講義は、どなたでも聴講できます。聴講は無料です。(席上献金あり。一部授業は有料) 又、各コースの授業も聴講可能です。(有料) 詳しくは学院事務局迄お問い合わせください。



有賀 喜一師

●伝道者・神学校教師。学院顧問。

9/1～5 1・2時間目



ロドルフォ・ガルサ 師

●アミッタ・デ・モントレ牧師 前 CFNJ 学院長

9/1～5 3時間目

無料体験入学
実施中！

平常授業のある3日間 (3泊4日)
※詳しくは事務局まで。



祝 入学式

●2025年4月14日（月）午前9時30分より、エブリネーションチャーチ横浜のスコット・ダウマ師をお迎えして、2025年度の入学式が執り行われました。この中でスコット師は困難な時代の中でクリスチャンがどのように歩むのか？というテーマでお話ししてくださいました。この日、新入学者は一般コース（1・2年）4名と聴講生が1名の、5名が新たに学びをスタートしました。これからの学院生活の必要が満たされ、魂の収穫の為の働き人として整えられるよう、お祈りをよろしく願います！



■ハレルヤ！この学院に入学できて喜び爆発です！感謝なことに、ここに来るまでたくさんの方の祈りと支えがありました。自分の弱さと罪の中で打ちひしがれていた私に、神様は CFNJ 聖書学院の道を示してくださいました。絶対神学校にはいかないと思っていたのに（笑）神様の計画は不思議ですね。この学院での生活を通して、内なる人が主の似姿につくり変えられて、成長できるように期待して祈っていきます。引き続きお祈りいただけますと幸いです。

碓井 咲希（神奈川県）



■ハレルヤ！このたび、無事に神学校に入学することができました。「いつか神学校に行くことになるのだろう」という漠然とした思いは、やがて確信へと変えられ、こうして入学の日を迎えることができました。ここまで導かれたのは、多くの方々のお祈りと支え、そして何よりも主が常に共にいてくださったからこそだと思います。これから始まる学院での生活を通して、主との交わりをさらに深め、知識においても霊においても成長していけることを期待しています。

山 元気（札幌市）



■CFNJ 聖書学院に入学できたことに心から感謝します！今までたくさんの不安もありましたが、神様は御言葉や人との出会いを通して道が開かれていき、この学院へ導いてくれました。行くべきではないと思ってしまったり、神様の御心でないかもしれないという不安が大きかったです。しかしこの学院に来てから神様ははっきりと語ってくださり、神様の御心に従うことができ本当に嬉しいです！主に期待し、歩み続けたいです。祈ってくださった兄弟姉妹、先生方全てに感謝します。

多田サユリ（愛知県）



■CFNJ 聖書学院に入学できたことに感謝します！高校を卒業してそのまま卒業後は大学進学しようと決めていましたが、神様の導きによってこの学院に入学することに決めました！本当に神様のご計画と導きには感謝と感動しかありません！感謝です！ハレルヤ！この学院で自分は神様が自分にどのような計画を持ってくださっているのか、又日々何を見せてくださるかに期待をして過ごしていきたいと思います。神様との親密な時間をたくさん持ち、霊的にも人としても成長し神様の器として整えられていきたいです。祈ってくださったみなさんに感謝します！

高江洲 ヒカル（愛知県）



■ハレルヤ！主の御名をほめたたえます。CFNJ 聖書学院で学ぶにあたり、今まで祈っていただきました兄弟姉妹、指導牧師、伝道師の方々そして CFNJ 聖書学院の教職員、在校生の皆様の祈りに感謝申し上げます。神様から与えられたこの貴重な時間を素直に受け取り、霊的成長のため、私に与えられたビジョン（神様のご計画）の準備のために学院での学びに期待し、成長していきたいです。

伊集 盛治（札幌市）



祝入学 ●2024年9月2日(月)



ハレルヤ！主の御名を褒め称えます！私が初めて学院を知ったのは、学院の卒業生とルームシェアをした事がきっかけでした。その時はまさか入学するとは思いませんでした。ある時、牧師夫人に呼ばれてお話しする中で「霊的成長」の話題になった際に、全く行く気の無かった「CFNJ」という単語が流れ星のように流れたのです。その日から祈り始めて4年経ち、入学できました。神様の時を待つ本当に良かったです！！何にでも積極的に励みたいと思います！ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

磯谷 健太 (東京都)

随時願書受付中!

cfnj.com

新入生募集中!

2025年9月入学、
各学期からの入学可。

- アルプスコース(牧師・リーダー養成)
- 1・2年本科コース(1学期だけの短期で学ぶ事も可能です)

無料体験入学
実施中!

平常授業のある3日間(3泊4日)

※詳しくは事務局まで。

「そのとき、弟子たちに言われた。「収穫は多いが、働き手が少ない。だから、収穫の主に、収穫のために働き手を送ってくださるよう祈りなさい。」
(マタイ9章37節～38節)



2024年度 CFNJ会計報告

(2024年4月～2025年3月)

収 入		支 出	
前期繰越	477,522	給与手当	14,261,090
KF献金	19,991,025	謝礼金	1,992,190
団体献金	2,527,000	対外献金	442,097
個人献金	3,456,393	水道光熱費	7,738,921
授業料収入	1,973,670	旅費交通費	1,261,903
寮管理収入	3,902,500	印刷費	407,366
食費収入	1,235,850	通信費	1,134,303
※除雪機献金	4,250,000	消耗品費	492,375
その他の収入※1	181,672	火災保険	544,680
		修繕・維持費	1,259,891
		食費(材料費)	1,328,147
		広告費	81,400
		法定福利費	1,963,148
		※除雪機	3,690,000
		その他の支出※1	1,806,290
		支出合計	38,403,801
収入合計	37,995,632	次期繰越	-408,169
	37,995,632		37,995,632

CFNJ 北海道地区

「同窓生会」開催のお知らせ!

CFNJ 卒業生、修了生の皆さん、お変わりありませんか? 久しく開催していなかった北海道地区の同窓生会を、今年10月に開催予定です。少し先のことになりますが、今からみなさんの予定表に入れて、積極的にご参加くださるよう、お招きいたします。

- 日程/2025年10月25日(土)(正午～15時迄)
- 会費/昼食代一人 2000円(石狩のカフェ、ななやにランチを依頼する予定)
- 会場/CFNJホール 石狩市花川北6条5丁目157

※ 共に集まり、近況を分かち合い、親しく交わり、互いに祈り合い、楽しく有意義なひとときを共に過ごしたいと願っています。ご家族やご友人を誘って、一人でも多くの方のご参加をお待ちしております。

「ある人々のように、いっしょに集まることをやめたりしないで、かえって励まし合い、かの日が近づいているのを見て、ますますそうしようではありませんか。」ヘブル10章25節

※お申込み、お問い合わせは、お早めに学院事務局迄お知らせください。cfnjbibleschool@gmail.com
☎0133-74-1341 担当/鍛冶川 紀子・濱田めぐみ



宗教法人 アジアキリスト福音宣教会・クライスト・フォー・ザ・ネーションズ日本校

CFNJ聖書学院

〒061-3216 石狩市花川北6条5丁目157
(0133)74-1341・1342 FAX 74-1343

- HP:www.cfnj.com 郵便振替:02780-4-4688
- e-mail:office@cfnj.com 学院長/鍛冶川利文

